

# てきおう

No. 04

SEPTEMBER  
2023

写真提供：広島県職員



写真：暑さへの適応

ミストシャワーは、水を霧状に散布して気化熱により周囲の温度を下げます。商業施設等への導入が進んでいます。

第4号

# 気候変動対策における「緩和」と「適応」

近年、真夏日・猛暑日の増加など気候変動の影響が顕著になっています。気候変動の対策には、大きく分けて、気候変動の原因となる温室効果ガスの排出量を減らす「緩和」と、すでに生じている、あるいは将来予測される気候変動の影響による被害を回避・軽減させる「適応」の2つがあります。

## 緩和とは

気候変動を小さくするには、二酸化炭素など温室効果ガスの排出を削減し、森林などの吸収源を増やす「緩和」が最も必要です。私たちにできる緩和策には以下のようなものがあります。

- ・省エネ家電を導入する
- ・節電する
- ・食品ロスをなくす など

また、広島県では月1回の「ひろしま環境の日」に様々な一斉行動の取組を呼びかけています。

「ひろしま環境の日」を設定しました！  
広島県、「ecoひろしま～環境情報サイト～」  
QRコード→



## ○食べ物

気温上昇の影響による玄米の品質低下が問題となっています。広島県では、高温でも品質の低下が少ない「恋の予感」という品種を奨励品種にしています。また、ブドウの着色向上技術の開発（写真）や、ミカンから果実の着色が問題にならないレモンへの生産転換などの適応策が進んでいます。

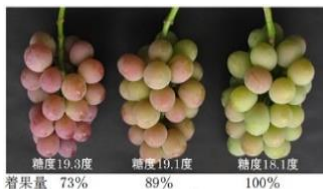


写真. 着果量の軽減と環状はく皮の効果

出典：広島県立総合技術研究所農業技術センター「瀬戸内沿岸部におけるブドウ‘安芸クイン’の着色向上技術の開発」

## 適応とは

最大限の緩和対策に取り組んでも、ある程度の気候変動は避けられないと予測されています。そのため、異常気象とそれに伴う自然災害や、農林水産業などに関わる悪影響を最小限に抑える「適応」が不可欠です。

適応策には、身近なものとして、健康、食べ物、自然災害の3つに関わるものがあります。

## ○自然災害

広島県では、砂防ダム等のインフラ整備や気象・災害に関わる情報提供（図）を行っています。自然災害への備えとして、天気予報や防災Web、ハザードマップの確認や、防災活動への参加等、私たち一人ひとりにもできる適応策があります。

## 適応策の例

### ○健康

近年、熱中症の救急搬送人数や死亡者数が増加傾向にあります。熱中症予防情報サイトの確認や、水分・塩分のこまめな摂取、日傘や帽子の着用、適切な冷房の使用等を行うことで、自分自身の健康を守ることができます。



↑環境省、「熱中症予防情報サイト」のQRコード

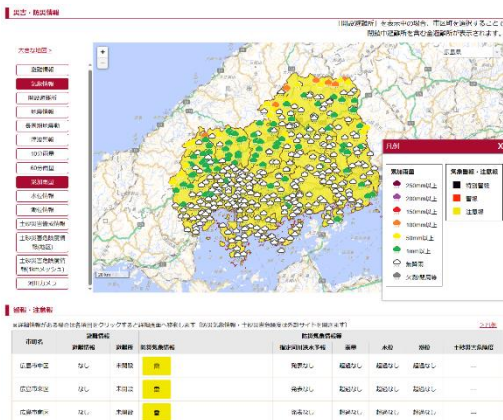


図. 広島県防災Web



↑「広島県防災Web」のQRコード

